

豊田産業

うどん居酒屋チェーンとFCC契約

JRゲートタワーに出店

外食店などを手がける豊田産業(本社刈谷市、豊田貴久社長)は、善通寺フーズ(本社東京)が首都圏で展開しているうどん居酒屋「野らぼー」のフランチャイズチェーン(FCC)契約を結んだ。FCC1号店を4月、名古屋・名駅に新設される高層複合ビル、JRゲートタワーに出店する。昼のランチから夜の宴会まで幅広く需要を取り込む。豊田産業は成長戦略としてFCCブランドの多角化を進めており、今回もその一環だ。

(岩崎幸一)

ランチ、宴会需要取り込む

野らぼーはコシの強い讃岐うどんが特長で、具だくさんの「野らぼーうどん」(税込み800円)が看板メニュー。このほか、鶏肉を焼き上げた香川のおもて

なし料理「丸亀焼き」、天ぷらなどの盛り合わせ「たらふく讃岐盛り」、「瀬戸内直送便 刺身盛り」など四国郷土料理を使った居酒屋メ



JRゲートタワーに出店する「野らぼー」の外観イメージ図

出店となる。

FCC1号店は4月7日にJRゲートタワーのレストラン街にオープンする。店舗面積約112平方メートル。席数は60席。想定客単価は昼800円、夜1300円。

営業時間は午前11時から午後11時。定休日なし。名駅エリアでのオフィス人口が増加する中、平日はオフィスワーカー、週末は女性同士や家族連れの利用も期待している。月間で売上高1200万円を目指す。

担当者は「一品一品の付加価値にこだわって勝負していく」と話している。

豊田産業は直営、FCCを含めて約20の外食ブランドを展開。消費者ニーズが多様化する中、昨年8月に天丼店「さん天」をFCC出店するなど、フランチャイズ(加盟店)としての取り組みを積極化している。

ニューが充実している。東

京と埼玉に直営店が計6店あり、今回が首都圏外で初